



製品安全データシート

1. 化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
改訂 平成18年6月15日

化学物質等のコード : 0139-0150

化学物質等の名称 : ペルオキシ二硫酸アンモニウム
(過硫酸アンモニウム)

2. 危険有害性の要約

分類の名称 : 酸化性物質, 有害性物質
危険性 : 可燃物、有機物と接触すると火災になることがある。

3. 組成、成分情報

化学名 : 過硫酸アンモニウム
成分及び含有量 : 98%
成分及び含有量 :
化学式または構造式 : $\text{NH}_4\text{S}_2\text{O}_8$
分子量 : 228.20
官報公示整理番号(化審法) : (1)-406
CAS No. : 7727-54-0
EINECS No. : 231-786-5

4. 応急処置

目に入った場合 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄し、眼科医の手当を受ける。
吸入した場合 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。
口内と鼻腔を水で洗浄し、必要な場合は医師の診断を受ける。
皮膚にふれた場合 汚染した衣類等は速やかに脱ぎ捨て、触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹸でよく洗い落とし、医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合 大量の水を飲ませて速やかに吐かせる。必要な場合は医師の診断を受ける。

5. 火災時の処置

消火方法 移動可能な容器は安全な場所に移し風上から粉末消火器等で消火作業を行う。
消火剤 粉末、泡、二酸化炭素、ハロゲン化物消火剤

6. 漏出時の措置

- ・内容物の容器からの漏れを防ぎ、流出拡大防止を図る。
- ・周囲に火気があればすぐ消し、エンジン、モーターなども止める。
- ・容器を安全な場所に移し、必要があれば内容物を安全な容器に移しかえる。
- ・粉末消火器などをもってきて火災発生時に備える。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い上の注意
可燃物との接触・混合を避ける。
分解を促進する金属およびその塩類や合金類との接触・混合を避ける。
取扱後は、手洗い、洗顔を十分に行う。
保管上の注意
密閉して直射日光を避け冷暗所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 設定されていない。
許容濃度 データなし
設備対策 データなし
・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。
保護具

・状況に応じ、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴、有機ガス用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器等を使用する。

9.物理的及び化学的性質

外観形状特性 白色粉末 微刺激臭
比重 1.982
融点 120
溶解度 70g/100g水(20)

10.安定性及び反応性

引火点 なし
安定性・反応性 可燃物と接触すると発熱する。塩素酸塩又は過塩素酸塩と混和すると常温、湿気の下で爆発する。
アルミニウム等の金属粉と混和すると湿気の下で燃焼する。硫黄、有機物と混和した時、湿気の下、衝撃、加熱等で燃焼する。
発火点 なし

11.有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

毒性
急性毒性
LD50(経口)ラット 820mg/kg
LD50(腹腔内)ラット 226mg/kg
LD50(静脈内)ウサギ 178mg/kg
LD50(経口)マウス 408mg/kg
慢性毒性 知見なし
刺激性(皮膚、眼) : 皮膚、粘膜に長時間接触すると皮膚炎や湿疹を発生することがある。
感作性 : ノルウェーでは、感作性物質に指定されている。
変異原性 : 知見なし
がん原性 : 知見なし
生殖毒性 : 知見なし

12.環境影響情報

分解性 : 知見なし
蓄積性 : 知見なし
魚毒性 : ヒメダカ TLm48 700ppm TLm24 1,100ppm

13.廃棄上の注意

水に溶解し、還元剤(ハイポ、重亜硫酸塩等)の酸性溶液で反応させた後、中和し、大量の水と共に流す。

14.輸送上の注意

陸上輸送 : 運搬に際しては袋に漏れないことを確かめ、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
海上輸送: 船舶安全法 個品輸送(危険物、酸化性物質類)(容器等級3)
容器 船舶による危険物の運送基準等を定める告示別表第5に定める小型容器1又は中型容器を使用する。
(注)容器は、(財)日本船用品検定協会の検査を受けたUNマーク表示容器を使用する。
容器表示 正標札L 副標札なし
品名及び国連番号(国際航海に限る)
積載方法 A
航空輸送: 航空法(酸化性物質)(等級3)
容器 航空機による爆発物等の輸送基準等を定める告示別表第3に定める鋼製ドラム(最大質量100kg)、鋼製ジェリカン(最大質量100kg)等を使用する。
(注)容器は、(財)日本船用品検定協会の検査を受けたUNマーク表示容器を使用する。
容器表示 正ラベルK 副ラベルなし
品名、国連番号、荷送人及び荷受人の名称、住所
隔離要件 火薬類(隔離区分がSのもの除く)、引火性液体、自然発火性物質その他の可燃性物質、腐食性物質と隔離する。
国連分類番号 : クラス 5.1(酸化性物質 P.G 2)
国連番号 : 1444

15.適用法令

労働安全衛生法施行令等の一部改正
第18の2別表第9「名称等を通知すべき有害物」 525
労働安全衛生法 危険物 酸化性の物
船舶安全法 危険物 酸化性物質類
航空法 爆発物等 酸化性物質

16.その他の情報

参考文献
化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
化学大辞典 共同出版
安衛法化学物質 化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版
化学物質安全性データブック オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
中央労働災害防止協会編

このデータは作成の時点における知見によるものですがかならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。